



第6回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会 会 議 次 第

日時：令和6年5月28日（火）13:30～16:00

場所：高知共済会館 3階大ホール「桜」

1 開 会

2 水産振興部長挨拶

3 委員紹介

4 会長・副会長の選出

5 議 事

（1）本年度の取組について（資料1、2）

（2）作業部会の取組について（資料3、4、5）

6 閉 会

第6回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会出席者名簿

日 時:

令和6年5月28日(火)13:30～16:00

高知共済会館 3階大ホール「桜」

委員

所属	職名	氏名
高知大学 次世代地域創造センター	准教授	岡村 健志
南国生活技術研究所	代表	黒笹 慈幾
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所	主任研究員	坪井 潤一
薬膳・和食文化研究家	研究家	百田 美知
高知県観光コンベンション協会	専務理事	鍵山 匡彦
鮎屋仁淀川	代表	西脇 亜紀
道の駅よって西土佐	駅長	林 大介
高知県水産物加工販売組合	会長	西内 正
高知県内水面漁業協同組合連合会	代表理事	吉村 正男
高知県内水面漁業協同組合連合会	理事	門田 寛三

国関係部局

所属	職名	氏名
高知河川国道事務所	河川管理課長	山田 和弘

県関係部局

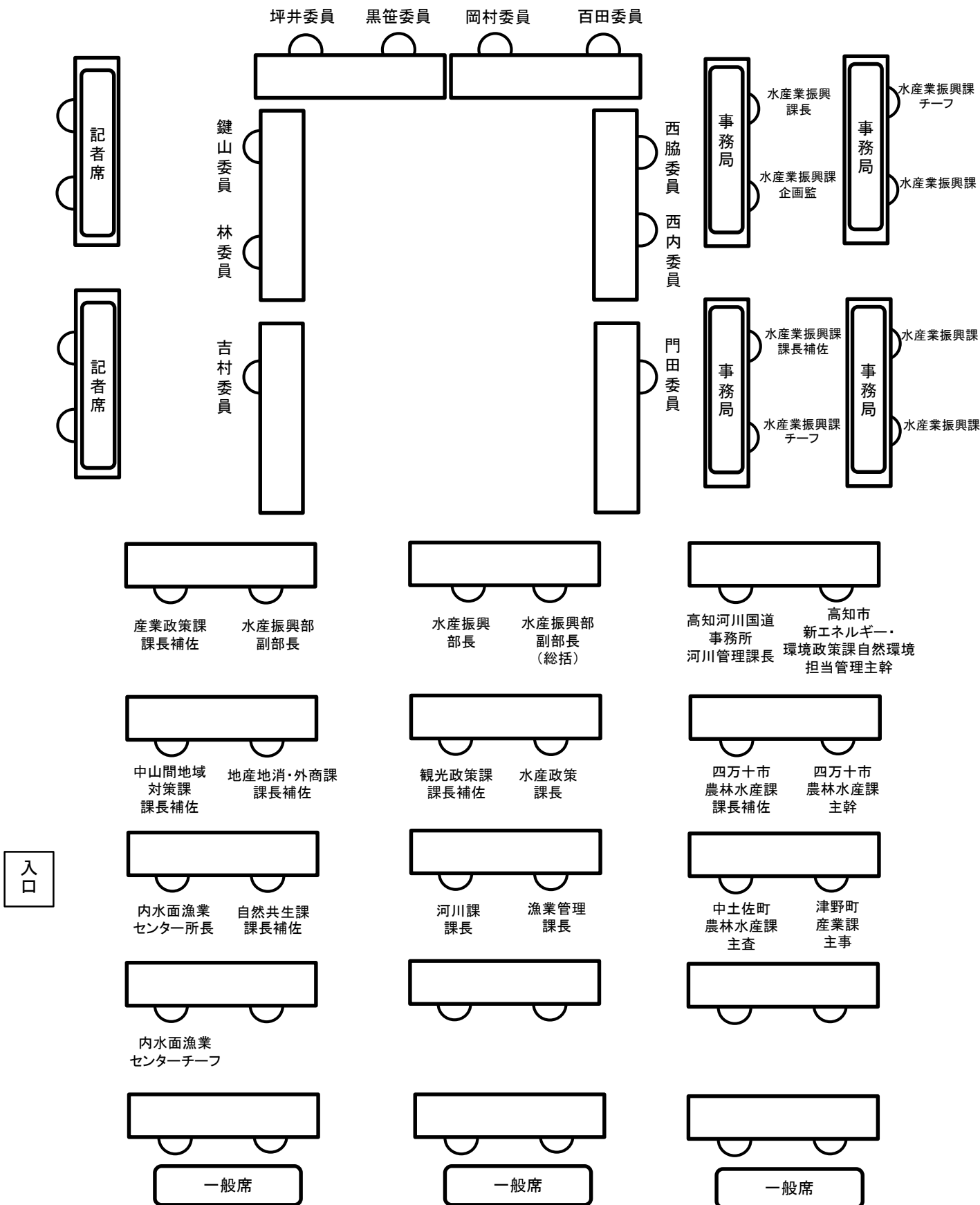
所属	職名	氏名
水産振興部	部長	濱田 美和子
	副部長	山下 修
	副部長	西山 勝
水産政策課	課長	西山 直文
漁業管理課	課長	浜渦 敬三
内水面漁業センター	所長	山本 順
	チーフ	林 芳弘
産業政策課	課長補佐	岡宗 秀明
中山間地域対策課	課長補佐	西岡 洋平
地産地消・外商課	課長補佐	種田 智加
観光政策課	課長補佐	竹崎 大輔
自然共生課	課長補佐	上岡 和代
河川課	課長	山本 治良
水産業振興課(事務局)	課長	津野 健太郎
	企画監兼水産物外商室長	山崎 竜二
	課長補佐	井上 久美賀
	チーフ(加工・輸出振興担当)	青野 怜史
	チーフ(内水面振興担当)	稲葉 太郎
	主幹	窪 敦大
	主査	徳弘 芳貴
	主査	池田 拓司

市町村関係部局

所属	職名	氏名
高知市 新エネルギー・環境政策課	自然環境担当管理主幹自然環境担当係長	山中 晶一
四万十市 農林水産課	課長補佐	岡田 圭一
	主幹	池田 香水
中土佐町 農林水産課	主査	中城 敦紀
津野町 産業課	主事	谷脇 吉貴

第6回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会 配席図

令和6年5月28日（火）13:30～16:00
（高知共済会館 3階大ホール「桜」）



あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会委員名簿

区分	氏名	所属	職名
有識者	岡村 健志	高知大学 次世代地域創造センター	准教授
	黒笹 慈幾	南国生活技術研究所	代表
	坪井 潤一	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所	主任研究員
	百田 美知	薬膳・和食文化研究家	研究家
観光	鍵山 匡彦	高知県観光コンベンション協会	専務理事
	藤本 正孝	高知県旅館ホテル生活衛生同業組合	代表理事
地域振興	西脇 亜紀	鮎屋仁淀川	代表
	林 大介	道の駅よって西土佐	駅長
流通販売	西内 正	高知県水産物加工販売組合	会長
漁業団体	吉村 正男	高知県内水面漁業協同組合連合会	代表理事
	門田 寛三	高知県内水面漁業協同組合連合会	理事

あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会設置要綱

（目的）

第1条 本県のあゆの価値を再認識し、あゆを有効かつ持続的に活用するための共通の指針である「あゆ王国高知振興ビジョン」の目指す姿の実現に向けて、ビジョンに掲げる取組が着実に進むように、取組の進捗確認や助言を行う「あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

（協議会の機能）

第2条 協議会は、第1条に掲げる目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について協議し、検討を行う。

- （1）取組の進捗状況の確認、評価、修正、追加に関すること。
- （2）協議会の運営や作業部会の設置に関すること。
- （3）その他協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

（委員の構成）

第3条 協議会の委員は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- （1）学識経験者
- （2）企業・団体の役職員
- （3）国・地方公共団体の職員
- （4）その他第1条の目的を達成するため相応しい者

（会長、副会長）

第4条 協議会に会長1名、副会長1名を置く。

- 2 会長は委員の互選により選任し、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある時又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（任期）

第5条 委員の任期は、委嘱の日から、委嘱の日の属する年度の3月31日までとする。

（会議）

第6条 協議会は、会長が招集し、会長はその議長となる。ただし、会長及び副会長が選任される前に招集される協議会については、知事が招集することができる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは委員以外の関係者の出席を求め、資料の提出、意見の表明、説明その他協力を求めることができる。

（作業部会）

第7条 協議会は、ビジョンに掲げる取組のうち、重要度や専門性が高い取組を着実に推進するため、必要に応じて作業部会を設置することができる。

- 2 作業部会のメンバーは、会長が選任することとし、協議会の委員のほか、学識経験者、企業・団体の役職員、国・地方公共団体の職員、その他第1条の目的を達成するために相応しい者で構成する。

（事務局）

第8条 協議会及び作業部会の事務局は、高知県水産振興部水産業振興課に置く。

附 則

この要綱は、令和4年4月20日から施行する。

第2期あゆ王国高知振興ビジョン（R6～R9年度）

- 本ビジョンは、本県のあゆの価値を県民の皆さまに再認識していただき、あゆを観光や地域振興等に有効かつ持続的に活用するための共通の指針としてR4.3月に策定。**R6.3月には第2期ビジョンへバージョンアップ**
- 地域住民、事業者、行政が協働して展開するべき振興策について、総合的かつ体系的に整理したもので、「高知のあゆに触れられる機会づくり」、「高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり」等、**5つの柱で構成**。
- 柱ごとに具体的に取り組む内容を記載
- 具体的な取り組みについては、**重要度や熟度が高いものから実施主体や支援機関等を整理して取り組みを推進**

第2期ビジョンのポイント

- ビジョンを進めるうえで、重要な取り組みである情報発信を、**新たにビジョンの柱5（高知のあゆを情報発信する仕組みづくり）に位置づけ**
- 目指す姿の実現に向けて、ビジョンに掲げる取り組みを着実かつ効果的に進めるため、**柱ごとに目標値を設定**

R6年度の主な取り組み

- 県関係課、市町村、漁協等から提案があった取り組みを整理
- 実施主体の掘り起こしを行うとともに、専門性の高い取り組みについては作業部会等で検討

ビジョンの柱 1 高知のあゆに触れられる機会づくり

観 光



- ・体験メニューの商品造成に向けた支援（四万十町、四万十市、県）
- 新**「極上の田舎、高知。」をコンセプトとした観光キャンペーンでのあゆの活用（県）
- ・あゆ漁インストラクターの育成（協議会）
- ・あゆ漁体験等を含む旅行商品や体験プログラムの情報発信（県）
- ・あゆを含む高知の食のPR（県）

食



- ・日曜市やイベント等でのあゆの販売・PR（四万十町、四万十市、県）
- ・キャンプ場やアクティビティ施設でのあゆの提供（漁協、四万十町、四万十市）
- 拡**「第2回こうち天然あゆまつり」の開催（県）
- ・「高知家の魚応援の店」への外商活動（県）
- ・あゆプロモーションの実施（地産外商公社、県）
- ・食育授業や学校給食でのあゆの提供（四万十町、県）
- ・宿泊施設や飲食店でのあゆメニューの開発・提供（漁協、馬路村、四万十町、ミライエ、県）

釣 り



- ・子供向け体験教室等の実施（漁協、四万十町、四万十市）
- 新**釣具メーカー主催のあゆ釣り全国決勝大会の開催・誘致（漁協、市町村、県）
- 拡**あゆルアー釣り（アユイング）及び電子遊漁券の普及（漁協、四万十町、作業部会）
- ・川漁体験の実施（四万十町）
- ・友釣り体験・大会の開催（四万十町、四万十市）
- ・電子地域ポイントシステムを活用した各種体験、交流の促進（高知市）

ビジョンの柱 2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり

加 工・流 通 販 売



- 新**高品質な冷凍あゆ商品の開発（作業部会、県）
- 新**漁協との連携による集出荷事業者の確保（漁協、作業部会、県）
- ・県内事業者との連携による品質向上及び複数河川のあゆの販売拡大（作業部会、県）
- 拡**国内外への販路開拓に向けた県や地産外商公社主催の商談会等への出展（四万十町、県）
- ・「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催（地産外商公社、県）
- ・県・市町村ふるさと納税でのあゆの提供（漁協、馬路村、仁淀川町、四万十市、四万十町、県）

ビジョンの柱 3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり

体 験・教 育



- ・学校と連携した環境学習の実施（高知市、四万十町、仁淀川町、四万十市、県）
- ・親子向けの体験ツアーの開催（四万十市）
- ・漁協や学校と連携した講座の開催による人材育成や河川資源に親しむ機会の創出（四万十市、県）
- ・あゆオーナー制度の実施（四万十町）
- ・あゆ種苗放流体験の実施（漁協、仁淀川町、馬路村、三原村）



ビジョンの柱 4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり

資 源 回 復・保 全



- ・資源回復・保全のための調査等の実施（高知市、四万十町、県）
- 新**「水」に着目した美味しいあゆの情報発信（作業部会）
- ・河川環境の改善に向けた関係者の協議（高知市、四万十町、四万十市）
- ・HPでの資源保全活動等の広報（四万十町）
- ・健全なあゆ人工種苗生産及び放流量の増加に向けた調整（県）
- ・ドローンを活用したカワウ対策の実証試験の実施（四万十町）

新 ビジョンの柱 5 高知のあゆを情報発信する仕組みづくり

情 報 発 信



- ・関東・関西におけるメディア向けPRイベントの開催（地産外商公社、県）
- ・イベントでの「あゆ王国高知」ロゴマークを活用したPR（地産外商公社、県）
- 拡**「あゆ王国高知」のホームページや各種SNS等を活用したあゆ関連情報の発信（馬路村、高知市、四万十町、県）
- 新**「水」に着目した美味しいあゆの情報発信（作業部会）
- ・あゆ提供飲食店の情報発信（四万十町、県）
- ・清流めぐり利き鮎会を活用した情報発信（高知県友釣り連盟）
- ・インフルエンサーを活用した情報発信（県）

これらの取り組みが進むことで

あゆの価値を県内外に広め、県経済や中山間地域の活性化及び新たな付加価値の創出につなげる

○全体スローガン

「あゆの香りがあふれる自然と暮らし あゆ王国高知」

○柱ごとの目標値

柱・内容	項目	取り組み方針	指標	現状値	R9年度目標値 各指標値を 120%以上へ (4年後)
柱1 高知のあゆに 触れられる 機会づくり	観光	①あゆを活用した旅行商品提供 のための仕組みづくり ②旅行商品づくりのための環境 整備 ③観光キャンペーンへのあゆの 活用	あゆ取扱い施設 における あゆ関連商品 の購入者数	2.2万人 (R4年度)	2.6万人
	食	①県内の飲食店等であゆを 食べてもらう機会づくり ②県外の飲食店等で高知のあゆ を食べてもらう機会づくり ③調理方法や食べ方の提案に よるあゆの利用促進			
	釣り	①子どもたちがあゆに親しむ ことができる機会づくり ②遊漁者の増加に向けた仕組み づくり	県内遊漁券 販売数	11,919件 (R4年度)	14,300件
柱2 高知のあゆで 外貨を稼ぐ 仕組みづくり	加工 ・ 流通 販売	①県内各河川のあゆを一元的、 安定的に供給するための流通 体制の構築 ②あゆの販路開拓・拡大のため の取り組みの実施 ③消費者への販売促進や県産 あゆのファンづくり	県内主要 集出荷施設 における あゆ取扱量	22.0t (R3年度)	26.4t
柱3 高知の川遊び の文化を維持 する仕組み づくり	体験 ・ 教育	①子どもたちが川に親しむ学習 などの実施 ②大人の学習・体験機会の創出	環境学習等 参加者数	1,501人 (R4年度)	1,800人
柱4 高知のあゆを 持続的に活用 するための 仕組みづくり	資源 回復 ・ 保全	あゆ資源の持続的活用に向けた 資源回復・保全策の実施	産卵場造成 等の資源保全 活動参加者数	333人 (R4年度)	400人
柱5 高知のあゆを 情報発信する 仕組みづくり	情報 発信	SNSやホームページを活用 した情報発信	あゆ王国HP の閲覧数	2.9万回 (R5年度見込み)	4.4万回
あゆ王国高知振興ビジョン全体の取り組み数				76件 (R5年度)	90件

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料2

柱 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	高知のあゆに触 れられる機会づ くり	観光	①あゆを活用した旅行 商品提供のための仕組 みづくり	◎宿泊・観光事業者と連携した あゆ漁(友釣り、火振り漁、しゃ ぐり漁、投網漁等)体験の旅行 商品化及び他の河川アクティ ビティ(SUP等)との連携による 体験メニューの拡充	1	火振り漁見学のメニュー化 体験型観光の拡大を目指して、観光 業界と漁協の連携を強化	※四万十市 四万十市観光協会 (遊覧船組合) 四万十川中央漁協					火振り漁見学のメニュー 化 ↓ メニュー化1件	
								遊覧船等観光業界への働きかけ、調整					
					2	体験メニューの商品造成及び実施 自然体験メニューの造成と実施	※四万十町 委託事業者	イベントの開催に向けた調整		イベント等の開催			体験イベントの実施 2回 ↓ 2回
					3	友釣り体験等の実施 友釣り体験、四万十川友釣りイベン ト等に向けた調整・実施	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連 合会、四万十川上流淡水 漁業協同組合 他	イベントの開催に向けた調整		イベント等の開催			体験イベントの実施 2回 ↓ 2回
					4	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予 約制であゆの提供の実施	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花 夢 他町内の管理者が常駐す るキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供					体験メニューの商品化 1回 ↓ 1件以上
					5	観光等複合拠点へのあゆの提供 モンベルアウトドアビレッジ本山の ハーベストテラスのバーベキューの 食材としてあゆを提供	※嶺北漁協	ハーベストテラスでのあゆの提供					あゆの出荷数 80匹 ↓ 200匹
			出荷準備(解禁まで)	あゆ出荷(6～10月)				来年度のあゆの漁獲にかかる電源公社との協議					
			6	友釣り体験等の実施 友釣り体験、四万十川友釣りイベン ト等に向けた調整・実施(再掲)	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連 合会、四万十川上流淡水 漁業協同組合 他	開催に向けた調整		友釣りイベント開催(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討		友釣り教室の開催回数 6回(イベント中止) ↓ 年2回以上の開催	
7	友釣り体験の実施 大人向け、子ども向けの友釣り体験 に向けた調整・実施	奈半利川淡水漁協	開催に向けた調整		友釣りイベント開催(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討		友釣り体験参加人数 大人0名 子ども0名 ↓ 大人10人 子ども10人				
8	◎あゆ漁インストラクターや環 境学習ガイダンスを担う人材の 育成	あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協 議	※協議会 高知県友釣連盟	取り組み内容について協議会委員と協議		友釣連盟等による講師派遣の検討				インストラクターの派遣 ↓ 1名以上			
				インストラクター育成の要望確認									
9	◇駐車場や入川道等の整備	入川道の整備 魚道整備や草刈等の維持管理の管 轄漁協への委託	※四万十町 四万十川東部漁業協同組 合 四万十川上流淡水漁業協 同組合	入川道の維持管理					入川道の維持管理 の実施 12箇所 ↓ 12箇所以上				
10	③観光キャンペーンへ のあゆの活用	◎県の観光キャンペーンと連 携したあゆを活用した自然・体 験型観光商品や飲食店情報の 発信	観光客向けの情報発信 あゆ漁体験などを含む旅行商品や 体験プログラムの情報を発信	※観光政策課 高知県観光コンベンション 協会	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ漁体験などを含む自然・体験型観光商品等を発信(4月～)				No.2、3、6の目標と同じ				
11	◎都市圏などで開催される観 光イベントでのあゆのPR	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる 誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆ を含む高知の食をPR	※観光政策課 高知県観光コンベンション 協会	【東京・大阪・広島・福岡】旅 行会社への観光説明会で あゆを含む高知の食をPR (4～5月)		【東京・大阪・名古屋】旅行会社への観 光説明会であゆを含む高知の食をPR (9～10月)		首都圏メディアとの情報交換会 であゆを含む高知の食をPR	観光説明会・メディア情 報交換会でのPR 19件 ↓ 30件 ※令和4年度夏からの累 計				
				首都圏メディアと情報交換会であ ゆを含む高知の食をPR(9月)									

柱 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
1	高知のあゆに触 れられる機会づ くり	食	①県内の飲食店等であ ゆを食べてもらう機会づ くり	◎あゆを提供している飲食店 情報の発信	12	あゆ提供飲食店の情報発信 あゆが食べられる飲食店等の情報 収集・あゆ王国HPでの情報発信	※水産業振興課 県内飲食店	企画提案(プロポ)				県内飲食店の掲載数 86店舗 ↓ 86店舗		
								あゆが食べられる飲食店等情報のHPでの情報収集・情報発信						
					13	町HPへのあゆ提供飲食店の掲載 あゆ＆うなぎMAP(R5作成済)の情報 発信	※四万十町 町内飲食店					町内飲食店の掲載数 14店舗 ↓ 14箇所以上		
								HP等での飲食店情報の発信						
					14	観光等複合拠点へのあゆの提供 モンベルアウトドアビレッジ本山の ハーベストテラスのバーベキューの 食材としてあゆを提供(再掲)	※嶺北漁協	ハーベストテラスでのあゆの提供				あゆの出荷数 80匹 ↓ 200匹		
								出荷準備(解禁まで)		あゆ出荷(6～10月)			来年度のあゆの漁獲にかかる電源公社との協議	
				15	あゆ及び加工品の販売 道の駅で常時天然あゆの塩焼きを 提供するとともに、バーベキューの 食材として地域内のアクティビティ施 設と連携してあゆ及び加工品を提供	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	道の駅での焼きアユ販売				新商品の開発件数 0件 ↓ 1件			
							地域内施設と連携したあゆ及び加工品の提供							
				16	能津地区来訪者への高知県産鮎 料理の提供 仁淀川屋形船が漁獲した鮎を能津 集落活動センターミライエが能津地 区を訪れた観光客へ提供する	※能津集落活動センター ミライエ 屋形船仁淀川	鮎の新メニュー開発・仁 淀川屋形船(株)HPにメ ニュー写真等掲載によ り周知(～5月)				鮎料理提供数 1,688食 ↓ 1,940食			
							開発した鮎料理の販売(鮎の在庫が無くなり次第終了)							
				17	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予 約制であゆの提供の実施(再掲)	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花 夢 他町内の管理者が常駐す るキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 1回 ↓ 1件以上			
				◎県内主要観光施設や道の 駅、イベント等でのあゆの販売	18	PRイベントの開催 あゆ釣り全国決勝大会及び日曜市 に合わせたあゆPRイベントの開催	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	企画提案(プロポ)		大会会場でのあゆPRイベント に向けた流域市町村との調整・ 準備		あゆ釣り全国決勝 大会(8/23～8/25) 及び日曜市に合わ せたイベントでのPR (8/25)	PRイベントの効果調査	PRイベントの実施 1回 ↓ 2回
								あゆPRイベントの開催調整・準備						
					19	日曜市でのあゆの販売 県内各河川が連携し、高知市の日 曜市に出店することで、県民及び県 外観光客にあゆを安定的に供給で きる体制を整備	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐 四万十川漁業振興協議会	日曜市での販売に向けた関係者との協議・調整・実施(たびひろマーケットでの出店も検討)						日曜市でのあゆの販売 日曜市に隣接した 会場での販売 ↓ 販売の実現
					20	利き鮎会及び食味会の開催 四万十川の各地(本流、目黒川、黒 尊川、藤ノ川川等)でとれる鮎を比 べ、味の違いの体感や、美味しさを 競い合う	※四万十市 四万十川漁連 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	開催に向けた調整				利き鮎会開催(12月頃)	利き鮎会及び食味会 の開催 1回開催 ↓ 2回開催	
					21	各種イベント等でのあゆの塩焼き の販売 県内外の各種イベントに出店しあゆ の塩焼きを販売	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	各種イベント等での天然アユ販売						イベントへの出店回数 9回 ↓ 10回
					22	あゆフェスの開催 西土佐地域に古くから伝わるあゆ料 理や新しく考案されたあゆ料理を提 供	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	あゆフェス開催						あゆフェスの開催 第1回開催 ↓ 第2回開催
				23	漁協によるイベントへの出展 四万十川上流淡水漁協によるイベ ント出店	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協 同組合	高知市中央公園等で行われる食のイベントへの出展(豊稷祭、ふるさとまつり、土佐のおきやく 等)						イベントの開催回数 3回 ↓ 3回以上	
							豊稷祭、ふるさとまつり		土佐のおきやく					
				◎食育授業でのあゆの活用	24	学校給食へアユ提供 四万十町内の小中学校・高校の給 食へのあゆの提供	※四万十町 町内小・中学校、高校 給食センター	町内小中学校・高校の給食へのあゆ提供						給食でのあゆの活用 町内各学校で1回以上 ↓ 1回以上
					25	食育授業でのあゆの提供 食育授業の食材にあゆを活用し、県 内小学校等の児童及び保護者に対 して、関心喚起につながる学習と調 理実習・試食を実施	※水産業振興課 学校給食会 漁協	学校給食会との協議		小学校等での食育授業の実施(6月～12月)				食育授業でのあゆの活 用 2回(生徒:54名) ↓ 1回以上
漁協等への食材購入に係る協力														

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	①県内の飲食店等であゆを食べてもらう機会づくり	◎食育授業でのあゆの活用	26	食育授業を通じたあゆの学習 市内小学校の児童が落ちあゆ漁の見学やあゆの産卵等について学習した後、保護者と一緒にあゆを活用した調理実習・試食を実施	※四十十市 四万十川中央漁協 給食センター		関係者との協議		あゆや川に関する現地学習、見学及び調理実習の実施(11～12月)	食育授業でのあゆの活用 1回 ↓ 1回
			②県外の飲食店等で高知のあゆを食べてもらう機会づくり	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの販売促進	27	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国350店舗)の開催(9～2月)		フェアであゆを提供する飲食店数 1店舗 ↓ 3店舗
					28	県外での販売促進 町地産外商室を通じた県外でのあゆの販売流通促進	※四十十町	町地産外商室の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)				商談会への参加 5回 ↓ 1回以上
					29	「高知家の魚応援の店」への外販活動 全国の「応援の店」に対して、きめ細やかな営業活動やオンラインを活用した商談機会の提供を通じて、あゆの販路開拓・販売拡大を実施	※水産業振興課 地産外商公社	「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施 県内参画事業者の情報収集				あゆを扱う県内参画事業者の商談会等への参加 2回 ↓ 3回
					30	四万十川のあゆの販売拡大 ・「高知家の魚応援の店」と連携した天然あゆの提供 ・豊洲市場への活あゆ等の直送	※四十十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	実店舗での天然アユ提供 豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場へのあゆ出荷量 307.7kg ↓ R5同程度の量を出荷
				◎「まるごと高知」を活用した高知のあゆのプロモーション活動の展開	31	あゆのプロモーション ・年間を通した情報発信(5、7-8、1月) ・2階レストランでメディア等を集めたあゆと土佐酒の試食会を開催、情報拡散を図る(5月)	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	あゆの解禁にあわせてメディアを集めた試食会開催(5月)@高知と連携	利きあゆ大会に向けた情報発信(7、8月)		あゆの加工品PR(1月)	情報発信 3回 ↓ 3回
					32	あゆフェアの開催 ①レストランであゆと土佐酒の提供 ②物販であゆ関連商品の販売	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	企画立案・調整	①レストランであゆの提供 ②あゆフェア(加工品)			店舗プロモーション活動 1回 ↓ 1回
			③調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	33	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 ホテル奈半利をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したメニューの提供を開始	※奈半利川淡水漁協 ホテル奈半利	あゆの提供について協議	あゆ料理の提供開始	来年度に向けた改善の検討	新たな出荷先の開拓	宿泊施設等へのあゆの提供尾数 150尾 ↓ 850尾
					34	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 馬路温泉をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したプランやメニューを開発し、利用客に提供	※馬路村 (一社)馬路温泉運営協会	プラン・メニューについて協議	開発したプラン・メニューの提供 利用者の意見等を取り入れながら、プラン・メニューの改善	シーズンの振り返りと来期に向けての改善		馬路温泉あゆ活用プランの宿泊者数(アユフルコース) 142名 ↓ 160名
			①子どもたちがあゆに親しむことができる機会づくり	◎子ども向け釣り教室等の開催	35	子供が楽しめる体験メニューの提供 しゃくり漁、投網漁、つかみ取り等、子供が楽しみながらあゆに親しめる体験メニューの提供	※四十十市 四万十川中央漁協 四万十川西部漁協 四万十川漁業振興協議会		しゃくり漁体験、投網漁体験、つかみ取り体験を実施(7～9月)			体験メニューの提供 3件 ↓ 3件
				◎幼稚園等でのあゆのつかみ取り体験等の実施	36	あゆのつかみ取りの実施 幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施	※奈半利川淡水漁協	幼稚園単位での開催に向けた調整	あゆのつかみ取り体験の開催(3～4回程度)			参加児童数 3回242名 ↓ 3回240名
					37	あゆのつかみ取りの実施 あゆまつりでのあゆのつかみ取り(小学生以下)の実施	※四十十町 アユまつり実行委員会	あゆまつりの開催に向けた調整・協議	あゆまつり開催			つかみ取り実施回数 年1回の開催 ↓ 年1回の開催
			②遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎あゆ漁インストラクターの育成	38	あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協議(再掲)	※協議会 高知県友釣連盟	取り組み内容について協議会委員と協議 インストラクター育成の要望確認		友釣連盟等による講師派遣の検討		インストラクターの派遣 ↓ 1名以上

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	②遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎若い世代をターゲットとした簡易な服装や道具で友釣りができるライトスタイルの提案及び広報	39	ライトスタイルの提案及び広報 釣具屋、関係団体と連携したライトスタイルの提案及び広報	※協議会 水産業振興課	あゆPRイベント等でのアユルアー等のPRに向けた委託業者や釣り具メーカー・	あゆ釣り全国決勝大会(8/23～8/25)及び日曜市に合わせたイベントでのPR(8/25)			イベント等でのPR 1回 ↓ 3回
				◎あゆのルアー釣り(アユイング)の普及に向けた実態調査及び関係者での協議	40	高知県河川におけるアユイングの普及 アユイングに適した河川を選出し、内水面漁協にアユイングに対する理解を得たうえで、県下でのアユイング普及活動を実施	※水産業振興課協議会(資源・環境保全部会)	内水面漁協へのアユイングの説明 河川の選出	アユイング体験の実施	アユイングの普及に向けた課題等の抽出		アユイング普及河川数 0 ↓ 3
				◎電子遊漁券の導入拡大や共通遊漁券の設定	41	漁協による電子遊漁券の利用拡大 電子遊漁券の利用拡大(四万十川上流淡水漁協)	※四万十川上流淡水漁業協同組合 四万十町	電子遊漁券のPR・販売				遊漁券の利用枚数 4枚 ↓ 20枚
				◎釣り具メーカー等と連携したあゆ釣り大会の開催	42	あゆ釣り全国大会の開催 ・高知県友釣り連盟と連携した釣り具メーカー主催のあゆ釣り全国大会の誘致	※仁淀川漁協 高知県友釣り連盟 水産業振興課 高知市土佐市いの町日高村佐川町越知町仁淀川町	大会開催に向けた主催者や関係者との協議・各種調整等 レセプションに向けた主催者や関係者との協議・各種調整等 大会会場でのあゆPRイベントに向けた委託業者や流域市町村との協議・調整	あゆ釣り全国大会開催(8/23～8/25)	関係者への情報共有 全国大会誘致に向けたメーカーとの調整(本部会場や宿泊先など)		大会の開催 0回 ↓ 1回
					43	四万十一デカイ鮎釣った人が優勝！グランプリの開催 四万十川で釣った鮎の大きさを競う大会を開催	※四万十市 西土佐商工会青年部 四万十川西部漁協	開催に向けた調整	大会開催(6/1～10/15)			大会の開催 第2回開催 ↓ 第3回開催
					44	あゆ釣りダービー及び1日大会の開催 ・1ヶ月間で釣ったあゆの大きさを競う大会を開催 ・1日で釣ったあゆの大きさを競う大会を開催	嶺北漁協	開催に向けた調整	あゆ釣りダービー開催(9/1～9/30) あゆ釣り1日大会開催(8/1～9/30)			大会の開催 0回 ↓ ダービー1回 1日大会1回
				◎あゆ漁具の継承に向けたイベントの開催	45	釣り道具の継承 釣り文化や釣り道具の継承に向けた検討	※協議会 水産業振興課	あゆPRイベント等でのアユルアー等のPRに向けた委託業者や釣り具メーカー・	あゆ釣り全国決勝大会(8/23～8/25)及び日曜市に合わせたイベントでのPR(8/25)	イベントでのPR効果や今後の取組の検討		イベント等での釣り具のPR 1回 ↓ 2回
				◎キャンプ場であゆ漁体験及びあゆバーベキューができる仕組みづくり(再掲)	46	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施(再掲)	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 1回 ↓ 1件以上
					47	友釣り体験等の実施 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等に向けた調整・実施(再掲)	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他	開催に向けた調整	友釣りイベント開催(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討	友釣り教室の開催回数 6回(イベント中止) ↓ 年2回以上の開催
					48	友釣り体験の実施 大人向け、子ども向けの友釣り体験に向けた調整・実施(再掲)	奈半利川淡水漁協	開催に向けた調整	友釣りイベント開催(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討	友釣り体験参加人数 大人0名 子ども0名 ↓ 大人10人 子ども10人

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	②遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎キャンプ場であゆ漁体験及びあゆバーベキューができる仕組みづくり(再掲)	49	川漁体験の実施 四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	※四万十町 四万十川財団	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)	川漁体験としての大人塾開催への協力(あゆ漁8、9、10月)	結果の検証		あゆに関する大人塾開催回数 6回 ↓ 6回
				◇あゆ釣り師養成講座の開講	50	友釣り体験等での講師依頼 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等での講師依頼	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他	開催に向けた調整	講師依頼(漁期期間中)	次年度の開催に向けた検討		友釣り教室の開催回数 6回(イベント中止) ↓ 年2回以上の開催
				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	51	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。	※高知市	事業の委託契約準備、契約(4月～6月)	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(7月～2月)	業務報告等(3月)		関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 4,000回
					52	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりの促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市	コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びユーザーの開拓等(通年)	業務報告等(3月)			関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 4,000回
					53	漁協及び関係市町で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協HPでのあゆ情報発信及び漁業振興協議会を活用した各調査結果等の情報発信	※四万十市 ※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合	四万十川東部漁協ホームページで一般釣り客への情報を公開		あゆ関係調査の結果報告		報告会・ホームページ情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ情報発信の実施

柱 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2	高知のあゆで 外貨を稼ぐ仕組 みづくり	加工・流通 販売	①県内各河川のあゆを一元的、安定的に供給するための流通体制の構築	◎県内において集荷機能を有する事業者などとの連携した県産あゆの販売拡大	1	集出荷事業者との連携による国内外への販売拡大 複数河川のあゆを集出荷できる県内事業者と連携し、国内外への展示会等への出展を通じて販売拡大に繋げる	※水産業振興課 地産地消・外商課 地産外商公社 協議会	販売拡大に向けた集出荷事業者との協議	国内展示商談会への出展(8月)	海外賞味会への出展(11月)	国内展示商談会への出展(2月)	商談会等への出展 3回 ↓ 3回
				◇集出荷及び冷凍加工・保管体制の構築	2	高品質な冷凍あゆ製品の開発 安定的な販売と魅力的な商品づくりに向けて急速凍結による高品質な冷凍あゆ製品を開発	※協議会(流通販売部会) 水産業振興課 地産地消・外商課 漁協	試験方法の検討・協議	作業部会における商品評価と商品化、販路開拓について検討 急速凍結商品(鮮魚・あゆ塩焼き)の開発	飲食店等での評価の取得	商品化に向けた検討	高付加価値商品の開発 ↓ 1商品
			②あゆの販路開拓・拡大のための取り組みの実施	◎漁協との連携によるあゆ集荷事業者の確保	3	集出荷事業者の掘り起こし等による取扱量の増加 漁業等と連携して新たな集出荷事業者や持ち込み遊漁者の掘り起こしに取り組むことで、安定的な販売に繋げる	※協議会(流通販売部会) 水産業振興課 漁協	集出荷事業者の掘り起こしに向けた漁協への意向確認 民間事業者への相談	集出荷試験の実施	集出荷体制の構築に向けた協議、持ち込み組合員等への広報		新たな集出荷体制の構築 ↓ 1件
				◎各河川の集荷時における、あゆの規格化	4	先進地事例を参考にした高知県のあゆの受け入れ・冷凍方法の検討 漁協や冷凍関連事業者との連携により、本県に適した鮮魚の受け入れや冷凍方法を検討する	※協議会(流通販売部会) 水産業振興課 漁協	漁協や冷凍関連事業者に現状の取り扱いや課題等について聞き取り	あゆの受け入れや冷凍方法の試行	本県に適したあゆの受け入れや冷凍方法の整理		新たな取り組みの創出 ↓ 1件
				◎河川ごとのあゆを販売出来る体制の構築	5	県内事業者と連携した複数河川のあゆの販売 県内商社の役割を担う県内事業者との連携により複数河川のあゆを集出荷	※協議会(流通販売部会) 水産業振興課 県内事業者	漁協や県内事業者の意向を踏まえた協議	これまで実施していない河川のあゆを集荷・試験販売	複数河川の冷凍あゆを集荷・販売		冷凍あゆの集出荷が可能 な漁協 3漁協 ↓ 4漁協
					6	豊洲市場への活あゆ出荷 豊洲市場への活アユ等の出荷を継続	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場へのあゆ出荷量 307.7kg ↓ R5同程度の量を出荷
				◎県や地産外商公社が主催・出展する商談会への参加による販路の確保及び拡大	7	商談会への参加による販路開拓・販売拡大 高知県(地産地消・外商課)、高知県地産外商公社主催の商談会に参加して、販路開拓や販売拡大につなげる <令和5年度> ○土佐の宴(大阪市):9月26日 ○県産品商談会(高知市):10月24日 ○とさっておいしい食の商談会:3月5日(東京都)	※地産地消・外商課 あゆ関連事業者 水産業振興課 地産外商公社	○6月11日:関西版県産品商談会(高知) (県・公社)出展者募集(約2ヶ月前から)・協議会への情報共有 (県・公社)商談後のフォローアップ	○9月25日:土佐の宴(大阪) ○9月26日:関西圏県別個別商談会(京都/兵庫)	○11月7日:高知県産品商談会(高知)	○2月26日:九州・中四国得意先商談会(高知) ○3月14日:土佐っておいしい食の商談会(東京)	商談会開催回数 3回 ↓ 6回(予定)
				◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの販売促進(再掲)	8	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国350店舗)の開催(9～2月)		フェアであゆを提供する飲食店数 1店舗 ↓ 3店舗
					9	県外での販売促進 町地産外商室を通じた県外でのあゆの販売流通促進(再掲)	※四万十町	町地産外商室の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)				商談会への参加 4回 ↓ 1回以上
					10	「高知家の魚応援の店」への外商活動 全国の「応援の店」に対して、きめ細やかな営業活動やオンラインを活用した商談機会の提供を通じて、あゆの販路開拓・販売拡大を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商公社	「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施 県内参画事業者の情報収集	産地見学会(2回・36店舗)の実施 県産水産物試食商談会の実施			あゆを扱う県内参画事業者の商談会等への参加 2回 ↓ 3回
					11	四万十川のあゆの販売拡大 ・「高知家の魚応援の店」と連携した天然あゆの提供 ・豊洲市場への活あゆ等の直送(再掲)	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	実店舗での天然アユ提供 豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場へのあゆ出荷量 307.7kg ↓ R5同程度の量を出荷
				◇酒造会社と連携したあゆと土佐酒のセット販売	12	あゆフェアの開催 ①レストランであゆと土佐酒の提供 ②物販であゆ関連商品の販売 ①②を合わせて「高知あゆフェア」と題して2週間程度開催する(再掲)	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	企画立案・調整	①②あゆフェア(加工品)物販 関連商品販売			店舗プロモーション活動 1回 ↓ 1回

柱 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
2	高知のあゆで 外貨を稼ぐ仕組 みづくり	加工・流通 販売	③消費者への販売促 進や県産あゆのファン づくり	◎県版ふるさと納税での河川 ごとのあゆの提供	13	県版ふるさと納税でのあゆの提供 河川(エリア)毎の流通事業者と協 議し、集荷・配送体制に係る調整を 実施	※水産業振興課 政策企画課 市町村 漁協	ふるさと納税であゆの取扱い体制の構築				あゆの取扱事業者件数 0件 ↓ 1件	
				◎流域市町村におけるふるさと 納税返礼品への利用拡大	14	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲 れたあゆを出品	※奈半利川淡水漁協	あゆの確保に向けた 生け簀の整備	ふるさと納税での提供の開始(北川村、奈半利町:6月から開始)		次年度に向けた、集荷体制等の検討	ふるさと納税でのあゆ の出荷尾数 188尾 ↓ 359尾	
				ふるさと納税でのあゆ加工品の出 品 道の駅と連携してアユ加工新商品 の開発を行うとともに、ふるさと納 税返礼品としての出品を継続	15	※四万十市 四万十川西部漁協	アユ加工品の開発、ふるさと納税返礼品への出品				新商品の開発件数 0件 ↓ 1件		
					ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲 れたあゆを出品	16	※馬路村	出品時期・数量 について協議	出品 準備	あゆを返礼品として提供(漁獲状況により提供期間を決定する)		ふるさと納税寄附件数・ 金額 23件・22万6千円 ↓ 30件・36万円	
						ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲 れたあゆを出品	17	※四万十町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄附件数 (あゆ・あゆ加工品) 568件 ↓ 500件
					ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲 れたあゆを出品		18	※仁淀川町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄附件数 117件 ↓ 140件
				◎県内主要観光施設や道の 駅、イベント等でのあゆの販 売(再掲)		19	PRイベントの開催 あゆ釣り全国決勝大会及び日曜日 に合わせたあゆPRイベントの開催 (再掲)	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	企画提案(プロポ)	大会会場でのあゆPRイベン トに向けた流域市町村との調整・	あゆ釣り全国決勝 大会(8/23～8/25) 及び日曜市に合わ せたイベントでのP R(8/25)	PRイベントの効果調査	PRイベントの実施 1回 ↓ 2回
				日曜市でのあゆの販売 県内各河川が連携し、高知市の日 曜市に出店することで、県民及び 県外観光客にあゆを安定的に供給 できる体制を整備(再掲)	20	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐 四万十川漁業振興協議 会	日曜市での販売に向けた関係者との協議・調整・実施(たびひろマーケットでの出店も検討)				日曜市でのあゆの販売 日曜市に隣接した 会場での販売 ↓ 販売の実現		
					利き鮎会及び食味会の開催 四万十川の各地(本流、目黒川、 黒尊川、藤ノ川川等)でとれる鮎を 比べ、味の違いの体感や、美味し さを競い合う(再掲)	21	※四万十市 四万十川漁連 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	開催に向けた調整		利き鮎会開催(12月)		利き鮎会及び食味会 の開催 1回開催 ↓ 2回開催	
				各種イベント等でのあゆの塩焼き の販売 県内外の各種イベントに出店しあ ゆの塩焼きを販売(再掲)		22	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	各種イベント等での天然アユ販売				イベントへの出店回数 9回 ↓ 10回	
					あゆフェスの開催 西土佐地域に古くから伝わるあゆ 料理や新しく考案されたあゆ料理 を提供(再掲)	23	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	あゆフェス開催		あゆフェスの開催 第1回開催 ↓ 第2回開催			
				漁協によるイベントへの出展 四万十川上流淡水漁協によるイベ ント出店(再掲)		24	※四万十町 四万十川上流淡水漁業 協同組合	高知市中央公園等で行われる食のイベントへの出展(豊稜祭、ふるさとまつり、土佐のおきやく 等)				イベントの開催回数 3回 ↓ 3回以上	
					◎あゆに関する情報の定期的 な発信やシンポジウムの開 催	25	SNSやHPを活用した定期的な情 報発信 村のInstagram、ホームページ を活用し、あゆに関する情報を定 期的に発信する。	※馬路村	漁期前の川の状 況を発信	あゆ漁の風景を撮影(写真・動画)		あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)をInstagram、 ホームページで発信	
				26		清流めぐり利き鮎会を活用した情 報発信 全国の河川のアユを集め、食べ比 べによる審査を行い、その年のグ ランプリを選出・表彰する。 オープニングであゆ王国の取組を PRする。	※高知県友釣連盟 水産業振興課	エントリー河川の募 集・参加調整 (4、5月)	開催要項の 発送 (6月)	一般募 集案内 (7月)	一般募集 開始 (8月)	・9月開催 ・あゆ王国 の取組をP R	エントリー先への礼状、表彰状等の発 送

柱 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	体験・教育	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◎学校、地域、漁協、行政の連携による漁業体験及び環境学習の実施	1	漁業体験及び環境学習の実施 ・市内小学校が実施する環境学習に講師(四万十川財団)を派遣し、環境学習を支援 ・市内小・中学生とその保護者を対象に、四万十川中央漁業協同組合協力のもと、あゆのつかみ取り体験等を実施	※四万十市 四万十川財団 四万十川中央漁協 四万十川西部漁協	環境学習支援事業(随時)				親子体験教室の開催 1回 ↓ 1回以上開催
					2	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	事業の委託契約準備、契約(4月～6月) 鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(7月～2月) 業務報告等(3月)				関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 4,000回
					3	環境学習の実施 ・土佐山学舎の4年生を対象とした、鏡川に関する環境学習を年4回実施。	※高知市 土佐山学舎	環境学習の実施(時期未定)				環境学習の実施 4年生を対象に4回実施 ↓ 4年生を対象に4回実施
					4	地域学習への川漁や環境学習の導入 協働の川づくり事業による中学生の地域学習への川漁や環境学習の導入(四万十川財団)	※四万十町 四万十川財団 地域住民	水生生物調査や環境学習を通じた川との関わりへの協力 四万十川支流での通年での水生生物の生息状況調査				環境学習の実施 要望のある全ての学校で実施 ↓ 要望のある全ての学校で実施
					5	環境学習会の実施 学校と連携し、環境学習会を実施(物部川、仁淀川、四万十川流域)	※自然共生課 舟入小学校 香北中学校 楠目小学校 長岡小学校 大篠小学校 池川小学校 池川中学校 越知小学校 越知中学校 とさ自由学校 中村高校西土佐分校 衛生環境研究所(公財)四万十川財団流域団体等	実施内容協議 実施 実施内容協議 実施 (予定) ・池川小学校 ・越知小学校 ・とさ自由学校 (予定) ・舟入小学校 ・池川中学校 ・楠目小学校 ・中村高校西土佐分校 ・越知中学校 ・とさ自由学校 (予定) ・楠目小学校 ・舟入小学校 ・香北中学校 ・長岡小学校 ・大篠小学校 ・とさ自由学校 (予定) ・舟入小学校				実施校数 10校 ↓ 10校以上
					6	地域学習へのあゆ釣り体験や種苗の放流体験の導入 あゆの友釣りや種苗放流等を通じた地域学習	※仁淀川町 仁淀川漁協 仁淀川の“緑と清流”を再生する会 仁淀川アウトドアセンター	大崎保育園の園児によるあゆの放流体験(5月) 池川中学校の生徒によるあゆの友釣りとSUP体験(7月)				46名参加 ↓ 57名参加
				◎あゆ人工種苗放流体験の実施	7	あゆ種苗放流体験の実施 あゆ種苗放流の一部を村内保育所の児童による放流体験とする。	※馬路村 村内保育所 安田川漁協	放流の方法、安全管理、日程調整の協議 放流体験の実施				体験回数 1回 ↓ 1回
					8	あゆ放流体験の実施 あゆ放流の一部を村内小学校の児童による放流体験として実施。	※三原村 三原村商工会 三原小学校	放流時期等の協議 放流体験の実施				体験回数 1回 ↓ 1回
					9	地域学習へのあゆ釣り体験や種苗の放流体験の導入 あゆの友釣りや種苗放流等を通じた地域学習(再掲)	※仁淀川町 仁淀川漁協 仁淀川の“緑と清流”を再生する会 仁淀川アウトドアセンター	大崎保育園の園児によるあゆの放流体験(5月) 池川中学校の生徒によるあゆの友釣りとSUP体験(7月)				46名参加 ↓ 57名参加

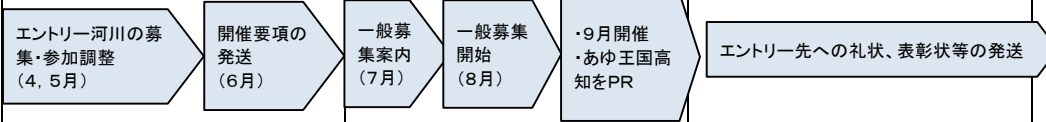
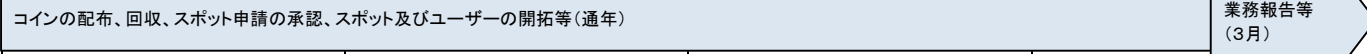
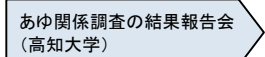
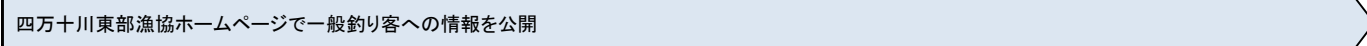
柱 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	体験・教育	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◇地域の伝統漁具の作成や修理体験による文化の継承	10	あゆのつかみ取りの実施 幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施(再掲)	※奈半利川淡水漁協	幼稚園単位での開催に向けた調整	あゆのつかみ取り体験の開催 (3～4回程度)			参加児童数 3回242名 ↓ 3回240名	
					11	釣り道具の継承 釣り文化や釣り道具の継承に向けた検討(再掲)	※協議会 水産業振興課	あゆPRイベント等でのアユルアー等のPRに向けた委託業者や釣り具メーカー	あゆ釣り全国決勝大会(8/23～8/25)及び日曜市に合わせたイベントでのPR(8/25)	イベントでのPR効果や今後の取組の検討		イベント等での釣り具のPR 1回 ↓ 2回	
			②大人の学習・体験機会の創出	◎漁協や企業と連携した漁業体験、産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入	12	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	事業の委託契約準備、契約 (4月～6月)	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催 (7月～2月)	業務報告等 (3月)		関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 4,000回	
					13	資源調査・種苗生産用の親魚養成の実施 各河川の流下期及び遡上期の資源状況調査を行い、県内各漁協と情報共有・発信を行う。また、遺伝的多様性の高い県産人工種苗「土佐のあゆ」を生産・放流するための親魚候補の確保と育成を行う。	※内水面漁業センター 漁協 水産業振興課	県内各河川での遡上量調査(4月～5月)			県内各河川での遡上量調査(2月～3月)	親魚養成用天然稚魚の確保 (3月)	各調査及び親魚養成の実施 毎年実施 ↓ 毎年実施
								放流用種苗親魚養成(3月～10月)					
								県内各河川での流下仔魚調査(10月～1月)					
					14	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集				オーナーへのあゆの提供	
15	◇あゆや河川資源を題材とした文化教育イベント(俳句・絵画・写真・書道展・環境学習展)の開催	※高知市	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	事業の委託契約準備、契約	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催	業務報告等		関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 4,000回					

柱 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
4	高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり	資源回復・保全	①あゆ資源の持続的活用に向けた資源回復・保全策の実施	◎流域全体の総意に基づく資源回復策の実施に向けた関係者間の協議	1	基礎調査の実施と関係者による協議 資源回復のための基礎調査の実施と情報共有、漁業振興協議会での流域内漁協と行政での意見交換協同組合	※四十町委託事業者 四十川東部漁業協同組合 四十川上流淡水漁業協同組合					協議会の開催 1回 ↓ 1回		
								中期的な資源調査の実施と、調査結果に基づく回復策についての提案・協議の場の設定						
					2	官民一体となって河川資源回復の取り組みを実施 四十川漁業振興協議会が中心となり、行政、学識経験者等の協力を得て、河川環境改善、資源回復に向けて取り組む	※四十市 四十川漁業振興協議会						取り組みの検討 要望書提出・取り組みの検討 ↓ 取り組みの方向性の決定	
								河川環境改善・資源回復に向けた取り組みの検討						
				3	ドローンを活用したカワウ対策の実証試験の実施 カワウ対策の実証試験の実施	※四十町委託事業者 四十川東部漁業協同組合 四十川上流淡水漁業協同組合					カワウ駆除数 38羽 ↓ 50羽以上 (四十町管内分)			
							カワウ追払いの実施							
				4	産卵場整備 環境・生態系保全対策事業費交付金を「鏡川環境保全の会」に交付し、産卵場整備の実施状況等の確認等を行う。	※高知市 高知県 鏡川漁業協同組合	計画承認 (4月)	交付決定 (5月)	体験学習会 (実施状況確認)	堆積土砂整備、河床の攪拌による瀬と淵の効果の検証(実施状況確認)(10月)		実績報告等 (2月～3月)	整備面積 2941㎡ ↓ 2,941㎡(現状維持)	
				5	「水」とあゆの美味しさに着目した情報発信 水(川の綺麗さや地形等)があゆの美味しさに与える影響について、漁協や専門家等に聞き取りを行い、整理・発信	※協議会(資源・環境保全部会)	漁協や専門家等に対して情報収集を行い、水とあゆの関連性を整理				(今後検討)			
							清流めぐり利き鮎会でグランプリを受賞した県外河川等の情報を収集							
							作業部会において、水があゆに与える影響について議論							
				6	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	事業の委託契約準備、契約 (4月～6月)		鏡川流域関係案内人によるイベントの開催 (7月～2月)			業務報告等 (3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 4,000回	
				7	資源調査・種苗生産用の親魚養成の実施 各河川の流下期及び遡上期の資源状況調査を行い、県内各漁協と情報共有・発信を行う。また、遺伝的多様性の高い県産人工種苗「土佐のあゆ」を生産・放流するための親魚候補の確保と育成を行う(再掲)	※内水面漁業センター 漁協 水産業振興課	県内各河川での遡上量調査(4月～5月)				県内各河川での遡上量調査(2月～3月)	各調査及び親魚養成の実施 毎年実施 ↓ 毎年実施		
							放流用種苗親魚養成(3月～10月)				親魚養成用天然稚魚の確保(3月)			
								県内各河川での流下仔魚調査(10月～1月)						
				8	あゆオーナー制度の実施 四十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施(再掲)	※四十町 四十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集				オーナー制度参加者数 12人 ↓ 30人			
							オーナーへのあゆの提供							
				9	あゆ人工種苗放流の継続に向けた関係団体との協議 あゆ人工種苗放流量の増加に向けて関係団体との協議を実施	※水産業振興課 内水面漁業協同組合連合会 漁協 市町村	種苗生産の現状を整理		関係団体への説明				要望調査等の実施	市町村等によるあゆ種苗放流量 33.6トン ↓ 34.0トン
10	あゆ資源回復に向けた検討 鏡川清流保全環境調査委託業務により、鏡川におけるあゆの遡上状況及び産卵場の調査を行い、あゆ資源回復に向けた対策を検討する。	※高知市 鏡川漁業協同組合	入札、契約 (4月)	中間報告 (6月)		あゆの産卵場調査(11月)	中間報告 (12月)	最終報告等 (2月～3月)	天然あゆ遡上数 19.2万尾 ↓ 50万尾					
			あゆの遡上状況調査(5月)											

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱5 高知のあゆを情報発信する仕組みづくり)

資料2

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
5	高知のあゆを 情報発信する 仕組みづくり	情報発信	①SNSやホームページ を活用した情報発信	◎「あゆ王国高知」ホーム ページやSNSを活用した情報 発信	1	県産あゆに関する情報発信 漁、食、観光、イベント開催、生態 や資源保全、環境学習に関する取 組、文化的価値等をSNSで情報発 信	※水産業振興課	県産あゆに関する情報収集 あゆ解禁情報・漁模様の情報発 あゆイベント情報の発信 あゆ食に関する情報発信 あゆ生態等の情報発信 あゆ遡上状況の情報発信 収集した県産あゆに関する情報発信				発信情報数 30回 ↓ 30回
				◎関係市町村や漁協、県内 事業者等と連携した、効果的 な情報発信	2	漁協及び関係市町で組織する協 議会を活用した情報発信 流域漁協HPでのあゆ情報発信及 び漁業振興協議会を活用した各調 査結果等の情報発信(再掲)	※四万十市 ※四万十町 四万十川漁業振興協議 会 四万十川東部漁業協同 組合	あゆ関係調査の結果報告会 四万十川東部漁協ホームページで一般釣り客への情報を公開				報告会・ホームページ 情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ 情報発信の実施
					3	あゆに関する情報発信 ホームページやリーフレット等を作 成し、県内外にあゆに関する情報 発信を行う	※四万十市 西土佐商工会 四万十川西部漁協 株式会社西土佐ふるさと 市 西土佐地域産業振興推 進協議会	ホームページ・リーフレット・のぼり旗等を活用したPR活動 BBQ食材としてのあゆのPR活動、学校給食を通じたあゆのPR活動 あゆを提供している飲食店の情報収集、あゆの食べ方や食文化の調査				PR活動 ホームページ等作成 ↓ ホームページ等を活用 したPR活動
				◎「高知家の魚応援の店」や 「まるごと高知」等と連携した 情報発信	4	「高知家の魚応援の店」での高知 フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高 知フェアでのメニュー提供や情報 発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集 フェア参加店舗の募集、 フェアメニューの開発・決定 高知フェア(全国350店舗)の開催(9～2月)				フェアであゆを提供する 飲食店数 1店舗 ↓ 3店舗
				◎「あゆ王国高知」ロゴマーク を活用したPR	5	イベントでの「あゆ王国高知」ロゴ マークを活用したPR 各種イベントでロゴマークを用いた ノベルティ配布やあゆ王国の動画 上映によりあゆ王国高知振興ビ ジョン及び県産天然あゆのPRを実 施	※水産業振興課	関東・関西メディア向けPRイ ベントでの動画放映(5/16) あゆ釣り全国決勝大 会でのノベルティの 配布(8/23～25) あゆ王国高知ロゴマークの利用申請受付				ロゴマークの活用回数 ↓ 5回
				◎あゆの美味しさと水や環境 に関する情報発信	6	「水」とあゆの美味しさに着目した 情報発信 水(川の綺麗さや地形等)があゆの 美味しさに与える影響について、漁 協や専門家等に関き取りを行い、 整理・発信(再掲)	※協議会(資源・環境保 全部会)	漁協や専門家等に対して情報収集を行い、水とあゆの関連性を整理 清流めぐり利き鮎会でグランプリを受賞した県外河川等の情報を収集 作業部会において、水があゆに与える影響について議論				(今後検討)
				◎県の観光キャンペーンと連 携したあゆを活用した自然・ 体験型観光商品や飲食店情 報の発信(再掲)	7	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる 誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆ を含む高知の食をPR (再掲)	※観光政策課 高知県観光コンベンシ ョン協会	【東京・大阪・広島・福岡】旅行 会社への観光説明会であゆ を含む高知の食をPR(4～5 【東京・大阪・名古屋】旅行会社への観光説 明会であゆを含む高知の食をPR(9～10 月) 首都圏メディアと情報交換会 であゆを含む高知の食をPR(9月) 首都圏メディアとの情報交換会 であゆを含む高知の食をPR (1月)				観光説明会・メディア情 報交換会でのPR 19件 ↓ 30件 ※令和4年度夏からの 累計
				◎観光コンベンション協会等 の団体やあゆに関わりの深い 著名人と連携したSNSによる 情報発信	8	県産あゆの効果的な情報発信 あゆが食べられる飲食店等の情報 収集・発信やインフルエンサーと連 携したSNSでの県産あゆの情報発 信等を実施	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	あゆが食べられる飲食店等情報のHP等での情報発信 企画提案(プロボ) 県SNS及びインフルエンサーによるSNS、TVでの情報発信(6～10月) 作業部会(情報発信関連)の開催による効果的な情報発信の検討、実施 関東及び関西のメディア向け PRイベント開催(5月)				SNS・HPでの記事・動画 閲覧数 約38万件 ↓ 70万件以上
				◎観光コンベンション協会等 の団体やまるごと高知と連携 したイベントによる情報発信	9	観光客向けの情報発信 あゆ漁体験などを含む旅行商品や 体験プログラムの情報を発信(再 掲)	※観光政策課 高知県観光コンベンシ ョン協会	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ漁体験などを含む自然・体験型観光商品等を 発信(4月～)				柱1のNo.2、3、6の目標 と同じ
					10	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる 誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆ を含む高知の食をPR (再掲)	※観光政策課 高知県観光コンベンシ ョン協会	【東京・大阪・広島・福岡】旅行 会社への観光説明会であゆを 【東京・大阪・名古屋】旅行会社への観光説 明会であゆを含む高知の食をPR(9～10月) 首都圏メディアと情報交換会 であゆを含む高知の食をPR(9 首都圏メディアとの情報交換会 であゆを含む高知の食をPR (1月)				観光説明会・メディア情 報交換会でのPR 19件 ↓ 30件 ※令和4年度夏からの 累計
				◎あゆに関する情報の定期 的な発信やシンポジウムの開 催(再掲)	11	SNSやHPを活用した定期的な情 報発信 村のInstagram、ホームペー ジを活用し、あゆに関する情報を定 期的に発信(再掲)	※馬路村	漁期前の川の状 況を発信 あゆ漁の風景を撮影(写真・動画) あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)をInstagram、ホームページで発信 あゆ漁の写真及び動画をInstagram、 ホームページで発信				Instagramを活用し たあゆに関する情報発 信 7回 ↓ 10回

柱 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
5	高知のあゆを 情報発信する 仕組みづくり	情報発信	①SNSやホームページ を活用した情報発信	◇関係機関と漁協が連携した 各河川のあゆに関する情報 発信(再掲)	12	清流めぐり利き鮎会を活用した情報発信 全国の河川のアユを集め、食べ比べによる審査を行い、その年のグランプリを選出・表彰する。 オープニングであゆ王国の取組をPRする。(再掲)	※高知県友釣連盟 水産業振興課					来場者数 260名 ↓ 200名以上
					13	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市					関係人口(鏡川流域の 自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 4,000回
					14	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりの促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営	※高知市					関係人口(鏡川流域の 自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 4,000回
					15	漁協及び関係市町で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協HPでのあゆ情報発信及び漁業振興協議会を活用した各調査結果等の情報発信(再掲)	※四万十市 ※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合					報告会・ホームページ 情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ 情報発信の実施
												

あゆを活用した観光や地域振興の取組を推進していくため、効果的な情報発信の方法等について検討

令和 5 年度取組

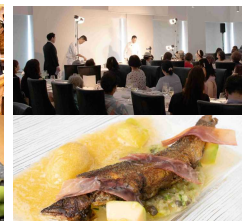
第 1 回開催：令和 5 年 7 月 26 日（水）

第 2 回開催：令和 6 年 1 月 23 日（火）

【開催内容】

各委員の行った情報発信等について議論

第 2 回開催時には、土佐山学舎 4 年生による、題目「あゆ王国を守ろう- 守る、活かす、発展する」の学習発表を実施



観光客を対象としたPRイベント
「こうち天然あゆまつり」の開催

関東・関西でのメディア向けPRイベント開催

ロゴマーク作成・商標登録



「こうち天然あゆフェア」の開催



インフルエンサー・
県SNSによるPR



仁淀川でのあゆ釣り全国大会 西日本
ブロック大会の開催及び決勝大会の誘致



第24回清流めぐり
利き鮎会でのPR



ポスター・チラシの
作成・配布



令和 6 年度取組



清流めぐり利き鮎会での
あゆ王国高知及び
県産天然あゆのPR



仁淀川で開催される
あゆ釣り全国決勝大会でのPR



観光客等対象の
PRイベントの開催



東京・大阪での
メディア向けPRイベント
の開催（5/16）

・WEB、テレビ等
による広報

・インフルエンサー、
SNSによる情報発信

・関係機関や事業者
の各種媒体やキャン
ペーン等での情報発
信
など

県産あゆの消費の拡大や付加価値の向上を図るため、安定的な販売と魅力的な商品づくりに向けて複数河川のあゆを集出荷できる体制の構築を検討

令和 5 年度取組

第 1 回開催：令和 5 年 7 月 24 日（月）

第 2 回開催：令和 6 年 1 月 12 日（金）

【開催内容】
あゆの冷凍試験の検討、県が行っているあゆの販路拡大についての報告、冷凍あゆの品質向上の検討について報告を実施
情報発信部会と連携をとり販路の拡大を目指す。

①天然あゆの冷凍・保管方法の確認



冷凍保管試験の実施

あゆ受取→選別→氷水での初期冷却→プラ容器に陳列→急速冷凍(-20℃)→真空包装→ストッカーで保管

改善点：冷凍時の容器を金属にすることでより急速に冷却できる

②国内外での天然あゆの販路拡大




第25回インターナショナルシーフードショー

ドバイ日本料理店「TOMO」

- ・インターナショナルシーフードショー、シーフードショー大阪の高知県ブースにて、あゆ王国のPRとあゆの提供を実施
- ・ドバイ「TOMO」にて、あゆの賞味会を実施

令和 6 年度取組




関東、関西以外の販路開拓についても検討



急速凍結（ブライン、プロトン等）の冷凍あゆ製品化にむけた試験の実施



あゆ集出荷事業者やあゆを持ち込む組合員等の掘り起こし



河川の特徴を生かした高付加価値商品等の創出など

あゆを観光や地域振興に有効かつ持続的に活用していくためには、あゆ資源を活用と保全の両輪で取組を進めていくことが重要であるため、あゆの保全等について検討

令和5年度取組

第1回開催：令和5年8月1日（火）
第2回開催：令和6年1月22日（月）

【開催内容】
海域生活期のあゆについての説明、内水面漁協の取組事例紹介、講演：「アユ等魚類の生息に配慮した川づくり」、アユイングについてのアンケート結果等を議題とし、あゆや河川環境等の保全に関する事項、内水面漁協の活性化について議論

海域生活期の資源動態把握

図 あゆ稚稚魚の海域生活期における資源動態把握調査に関する資料（内水面漁業センター作成資料を一部抜粋）

↑あゆの遡上量予測手法の開発について

←近自然河川研究所有川代表による講演

今後、漁協としてアユイングを推奨していく予定ですか？

「アユイングについて」のアンケート結果

- ・内水面漁業等を対象として実施
- ・アユイングを推奨していくことに積極的な回答は3経営体、検討中は6経営体、消極的な回答は4経営体
- ・今後アユイングを普及するためには県内での先進事例を作る必要がある

令和6年度取組

資源・環境保全の取組の推進

- ・他県の取組（鳥取県「水辺の環境保全協議会」）や過去の成功事例等を調査
- ・本県で開始できる取組を検討

↓

資源・環境保全の取組と並行して、情報発信を行うことで、川への関心を増加

「水」に着目した美味しいあゆの情報発信

- ・水（水質、地質等）とあゆの美味しさの関係性について関係者等へ聞き取り
- ・効果的な情報発信を検討

↓

あゆと河川環境の繋がりを発信することで、資源・環境保全の大切さを伝える

県内河川でのアユイング成功事例の創出

- ・アユイングの推進について、取組に前向きな漁協へ聞き取り等を実施
- ・釣り具メーカー等と連携した漁協関係者等へのアユイングの説明や体験の実施

↓

川に関わり、川の環境や資源に興味を持つ若者を増やす

図 アユイングの様子※画像提供：岡林釣具店